

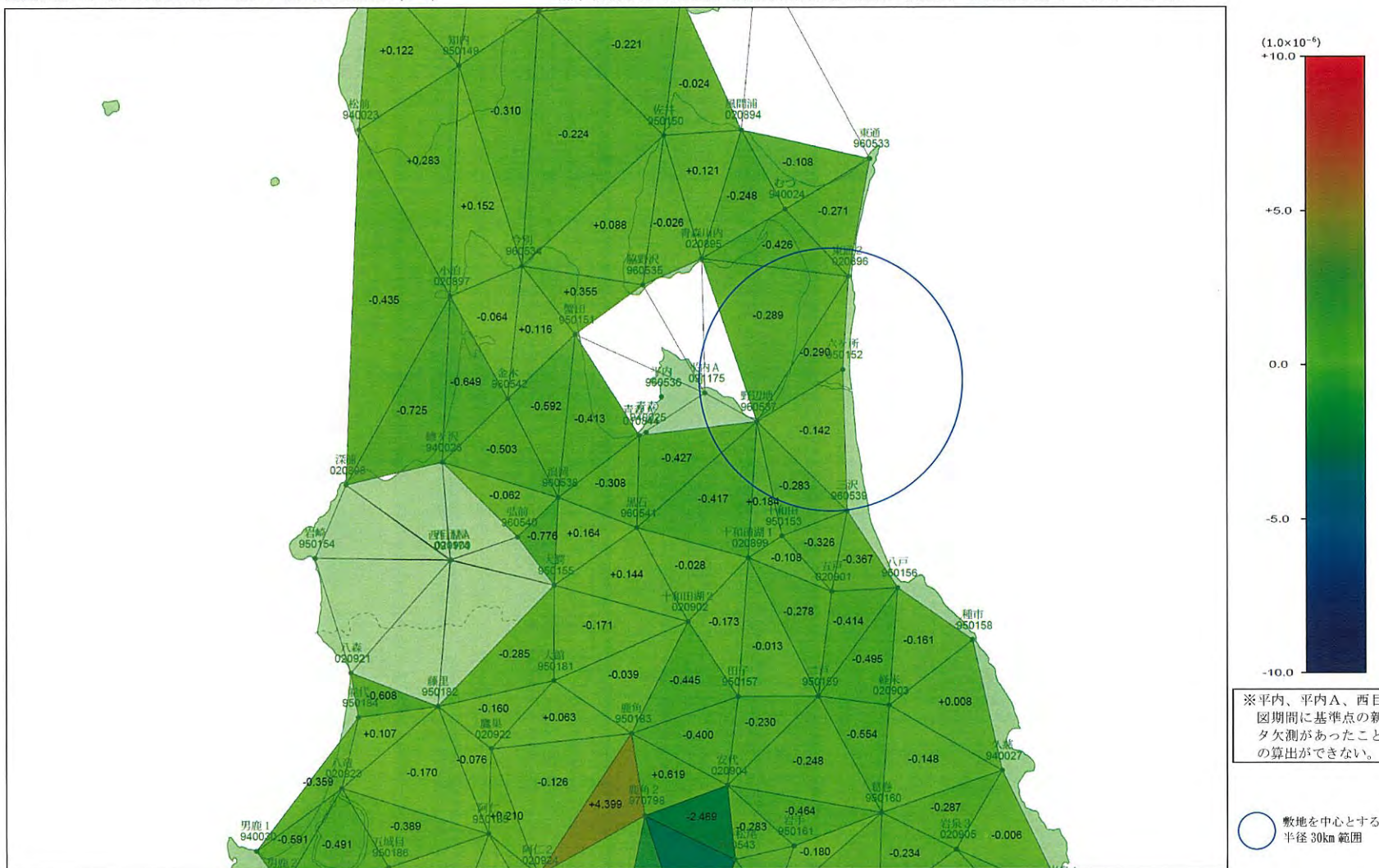
国土地理院「日々の座標値(F3)」データに基づく面積ひずみ

東北地方太平洋沖地震前約2年半の面積ひずみ図(平成20年7月上旬~平成23年3月上旬)

○ 敷地周辺における面積ひずみは $-0.4 \sim -0.1 \times 10^{-6}$ 程度であり、僅かに縮小している傾向であることが確認できる。

基準値: 2008年7月1日00時00分~2008年7月10日23時59分(平均)
比較値: 2011年3月1日00時00分~2011年3月10日23時59分(平均)

この基準値(又は、この比較値)は、国土地理院長の承認を得て、同院の技術資料G3-No.9.10電子基準点日々の座標値(F3)期間(1996.3.21~2010.3.31)を利用し作成したものである。(承認番号 国地企調第138号 平成23年7月29日)



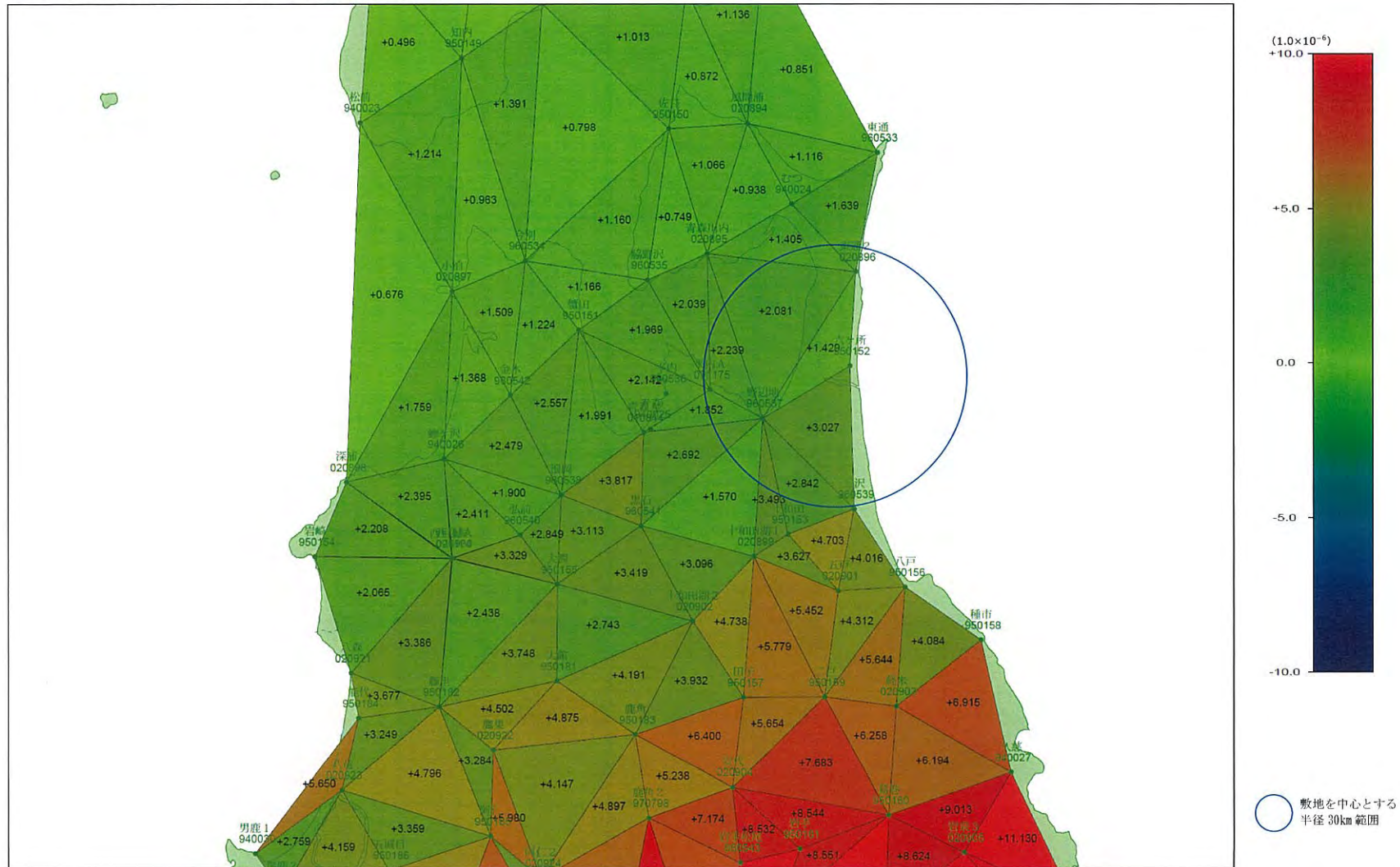
「この地図の作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の300万分の1日本とその周辺及び100万分の1日本を使用したものである。(承認番号 平20業使、第226号)」

国土地理院「日々の座標値 (F3)」データに基づく面積ひずみ

東北地方太平洋沖地震前後の面積ひずみ図

○東北地方太平洋沖地震に伴い、敷地周辺の面積ひずみは $1.4 \sim 3.5 \times 10^{-6}$ 程度であり、僅かに拡大していることが確認できる。

基準値: 2011年 3月 1日 00時00分 ~ 2011年 3月 10日 23時59分 (平均)
 比較値: 2011年 3月 12日 00時00分 ~ 2011年 3月 21日 23時59分 (平均)



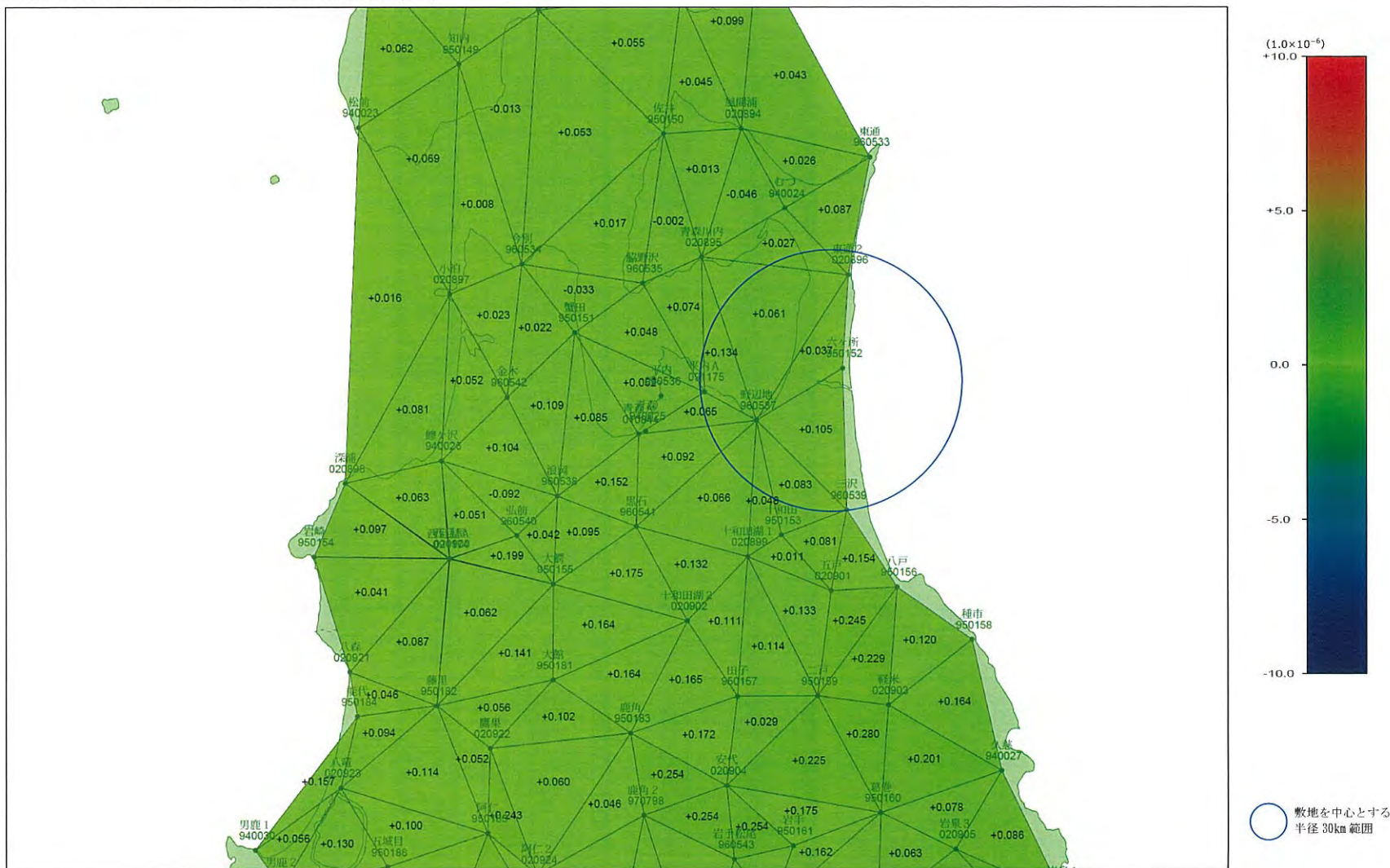
「この地図の作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の300万分の1日本とその周辺及び100万分の1日本を使用したものである。(承認番号 平20業使、第226号)」

国土地理院「日々の座標値 (F3)」データに基づく面積ひずみ

4月7日に発生した宮城県沖の地震前後の面積ひずみ図 (平成23年3月下旬~4月中旬)

○ 敷地周辺における面積ひずみは 0.1×10^{-6} 程度であり、僅かに拡大していることが確認できる。

基準値: 2011年3月28日00時00分~2011年4月6日23時59分 (平均)
 比較値: 2011年4月8日00時00分~2011年4月17日23時59分 (平均)



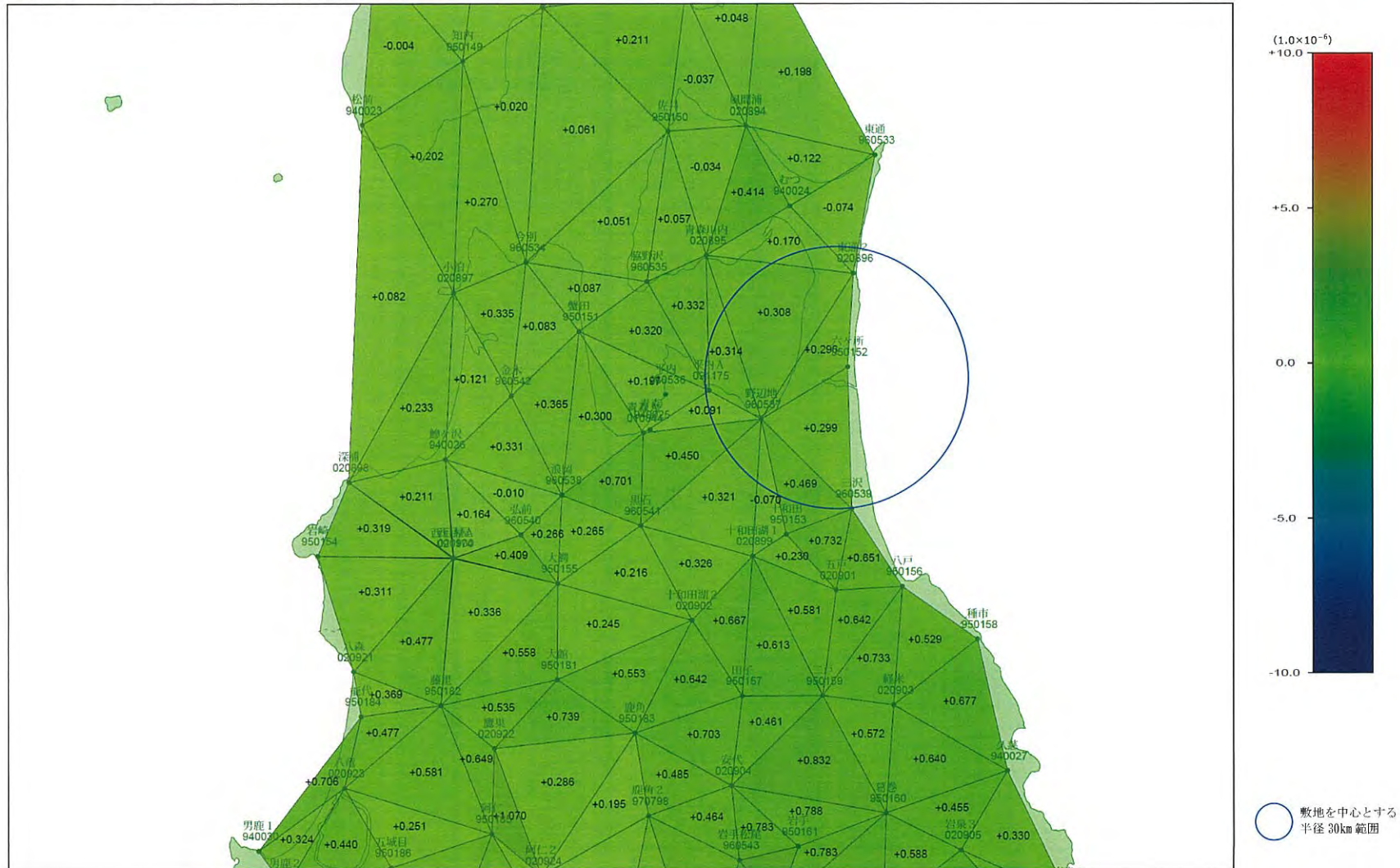
「この地図の作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の300万分の1日本とその周辺及び100万分の1日本を使用したものである。(承認番号 平20業使、第226号)」

国土地理院「日々の座標値(F3)」データに基づく面積ひずみ

東北地方太平洋沖地震後3ヶ月間の面積ひずみ図(平成23年4月中旬~7月中旬)

○ 敷地周辺における面積ひずみは $-0.1 \sim 0.5 \times 10^{-6}$ 程度であり、僅かに縮小している地域も確認されるが、概ね僅かな拡大であることが確認できる。

基準値: 2011年4月8日00時00分~2011年4月17日23時59分(平均)
 比較値: 2011年7月8日00時00分~2011年7月17日23時59分(平均)



「この地図の作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の300万分の1日本とその周辺及び100万分の1日本を使用したものである。(承認番号 平20業使、第226号)」